

【出席率】 会員56名中41名  
【先々週の出席率】 98.08%  
【ゲスト】 三条RC国際奉仕委員長  
佐野勝榮様  
【ビジター】  
三条北RCより 笹原壮玄君  
【先週のメークアップ】  
2/5 加茂RCへ 三野輪明人君



国際ロータリー会長 李 東 建 [韓 国]  
第2560地区ガバナー 馬 場 信 彦 [三条南]  
第4分区AG 古 井 辰 禰 [吉 田]  
会 長 吉 井 正 孝  
幹 事 鈴 木 圀 彦  
S A A 野 中 悟

事務局  
〒955-8666 三条市旭町2-5-10  
三条信用金庫本店内  
☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095  
E-maile info@sanjo-minami.jp  
URL <http://www.sanjo-minami.jp>

## 会長挨拶

吉井 正孝 会長

こんにちは。今日は三条RCから佐野国際奉仕委員長。そして三条北RCから笹原さん。ようこそおいでくださいました。最後までごゆっくりお過ごしください。

また、佐野委員長には後程、本日の「卓話」をお願いしております。台湾のRCとの「姉妹クラブ」締結までの経過と現状をお話いただきます。宜しくお願いいたします。

さて本日は2月9日、「ふくの日」だそうです。2と9の語呂合わせで、ふぐの本場、山口県下関のふく連盟が提唱しました。下関では、「ふぐ」ではなく「ふく」と発音し、福を呼ぶ縁起の良い魚とされております。



私は昨日の日曜日、今年初めて映画に出かけました。題名は「チェ・ゲバラ 39歳の別れ」。キューバ革命であの国を独立に導き、あの国の社会主義の思想的背景をなした英雄の話でした。医師でもあったチェ・ゲバラが、ゲリラ戦の先頭に立ち捕らわれ、射殺されるまでを描いた映画でしたが、前評判の割には地味な内容でした。

一時、休日は結構満員で盛況を極めたワーナー・マイカルでしたが、長岡市に同様の「シネコン」がオープンした事から、今はそれ程でもないとの話から、予約無しで出掛けてみた処、「この列のこの一席以外、全て空いています」との事。広い館内に私ともう一人の客、僅か二人。シニア割引で1,000円。何か申し訳なく感じながら、じっくり映画を観させていただきました。同時に、こんなところにも不況の影響があるんだな・・・!と、痛感させられました。

さて今日は、今年度3名の方々の米山功労者表彰をはじめ、次年度植木ガバナーエレクトから現馬場ガバナーはじめ3名の方々に委嘱状が届いておりますのでお渡し致したいと思います。

加えてこれは、「例会予告」でございますが、次々週の例会2月23日は、RI創立記念日で私の担当となっておりますが、内容を変更して現在検討が進められております「県央の救命救急、現状と未来」(仮題)と

言ったテーマで、三条市医師会会長の草野先生から卓話を頂戴する予定であります。ご期待ください。本日はこれをもってご挨拶と致します。

# 表彰



三条南ロータリークラブ 米山功労クラブ 第20回目

吉田 秀治 会員 米山功労者マルチプル  
(累計 900,000 円感謝状が贈られました)

野中 悟 会員 大久保秀男 会員  
米山功労者 (感謝状が贈られました)

## 委嘱状伝達

2009~2010 (植木康之ガバナー) 年度

馬場 信彦 会員 . . . 地区諮問委員・地区ガバナー指名委員・意義ある業績選考委員  
地区拡大カウンセラー

野崎 正明 会員 . . . ロータリー財団副委員長

田代徳太郎 会員 . . . ロータリー財団/年次寄附・恒久基金委員長

### 幹事報告

鈴木 圀彦 幹事

●馬場ガバナー事務所より 「ロータリーの友セミナー」開催のご案内

日時 2009年 3月28日(土) 12:00~15:00

会場 ハミングプラザVIP

出席対象者 クラブ雑誌担当委員またはロータリー情報委員長

## 出席委員会からのお願い

西巻 克郎 出席委員長

2008~09年度前期平均出席率は 91.43%でした。

なお、09年1月に関しましては、例会数が少なかったことも影響されていると考えられますが、86.15%ととても低くなっております。

我がクラブは会員皆様のご努力をいただき、創立以来90%以上の出席率を維持し、40年間平均出席率93.62%を誇っております。

どうぞ、後期は100%出席を目指し、例会を楽しんでいただき、活発なクラブ運営がなされますようご協力をお願い申し上げます。

例会を欠席されました時には、他クラブへメイクアップ(例会変更で記帳できる場合がございます)され、欠席補填されますようお願い致します。

他クラブの例会予定は毎月最終例会号の週報にカレンダーが掲載されていますのでご参考になさって下さい。

どうぞ出席率向上にご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

日 日 コ ボ ッ ク ス

～・ 2月 9日 20,000円 今年度累計 672,000円 ～

三条RC 佐野勝榮君

皆さん、こんにちは！ 南クラブさんへ初めてのメイクアップです。それが卓話と一緒にとは思いませんでした。今日ではよろしくお願ひします。

吉井君 今日「世界理解月間」です。三条RCから佐野国際奉仕委員長に卓話をお願い致しました。よろしくお願ひ致します。

鈴木(圀)君 本日の卓話、国際奉仕委員長 佐野勝榮様よろしくお願ひ致します。

- 野崎君 国際奉仕の野崎です。今月は「世界理解月間」です。卓話を三条クラブの佐野委員長にお願い致しました。佐野さん、よろしくお願い致します。
- 坪井君、佐藤（嘉）君、佐藤（秀）君 佐野さん、卓話ご苦労様です。楽しみしております。
- 西巻君 ○佐野国際奉仕委員長様、卓話ありがとうございます。ご指導願います。  
○本年度前期の出席率が目標出席率を少し下回りました。後期の出席率の向上に全会員のご協力をお願い致します。
- 馬場（信）君 昨日、十日町のクロスステンで開催の「関口としふみ氏（三条市前収入役）十日町市長選激励会」に参加してきました。会場あふれんばかりの満席でした。
- 菫澤君 1月24日（土）、第3回地区諮問委員会、第4回地区運営会議、そして植木ガバナーエレクトご夫妻激励会が無事終わりました。
- 吉田（秀）君 2月初旬、一年で一番寒い季節ですがお天気が良いと気分は暖かく感じます。
- 嘉瀬君 旅行やら風邪ひきで久しぶりに例会にきたら、週報が3冊もありました。でも今の処100%出席です。
- 荒澤君 誕生日プレゼントありがとうございました。
- 馬場（一）君、野中君、田中（悌）君、木原君 BOXに協力致します。
- 大久保君 久しぶりのBOX担当です。ご協力ありがとうございました。

## 世界理解月間

「姉妹ロータリーによる国際貢献について

— 姉妹クラブ締結までの経緯 —

三条ロータリークラブ

国際奉仕委員長 佐野 勝榮 様



南クラブの皆様、こんにちは。三条クラブの佐野です。今日はよろしくお願い致します。

貴クラブより「世界理解月間」として、私が2003～04年度会長の時、台湾・新竹城中ロータリークラブと姉妹クラブを締結した経緯を話してくれないかと野崎さんより以前から言われていましたが、まさか本当に新年明け早々に吉井会長と連名の講演依頼の文書が届けられるとは思いませんでした。召集令状みたいなもので、恥ずかしながら参上仕った次第です。本当に6年前のことでその当時の情熱や記憶も薄れ、いささかお話するのは頼りないのですが、記憶を振り返りつつ、お話をさせていただくことをお許し下さい。

国際奉仕委員会は読んで字の如く国際奉仕活動です。姉妹クラブだけを話すのは片手落ちですが、今日は姉妹クラブ締結までの経緯を話せ・・・ということですので、こちらに焦点を絞ってお話させていただきます。

当時、私は2つの会長スローガンを掲げました。1つは、「恵まれない人々へ手を貸そう！」、2つ目は、「友好クラブを創ろう！」でした。当時のR I会長 B, マジアベ氏のスローガンも「Lend a Hand 手を貸そう！」であり、偶然にも姉妹クラブを創る、双子プロジェクト案を推進されました。また、同様に当時の地区ガバナーで惜しくも亡くなられました原信一氏もR Iの方針に則り、姉妹クラブを提唱されました。

第四分区のIMでは、田上の運動公園に植樹を行いました。三条クラブは社会奉仕事業として、当時の南クラブ長谷川会長、野崎幹事、北クラブの山本会長に呼びかけ、槻の森運動公園にドングリの木を3クラブ合同で植樹致しました。遅くなりましたが、長谷川さん、野崎さんのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、同時にロータリー財団、国際親善奨学生として当クラブより、三条市柳沢出身の新潟大学大学院生の田中真由美さんを英国ボーリック大学へ1年間英語の勉強に行っていただきました。田中さんより留学中、インドの留学生が中心となってスーダンの難民へのボランティア活動に参加するので救援資金の要請がありました。それはまさしく国際奉仕活動であり、財団奨学生としての相応しい行動に大変感動し、厳しい会計の中から10万円を送金させていただいたことを思い出します。昨年地区の国際奉仕委員会、地区大会で立派に成長した彼女を拝見し、懐かしくお話をさせていただきました。

さて、前置きが長くなりましたが、本題の姉妹クラブの件ですが、私共のクラブも私で47代目とい

うことで、制度疲労というか、慢性的なマンネリ化というのか？ クラブを活性化できることは何だろうと考えていました。そこで、海外のクラブと友好クラブを創ろうということを思いつきまして、先程の会長方針のスローガンとなった訳です。

姉妹クラブは、日本に近い親日的な台湾国と考え、台湾国内のクラブを色々あたったのですが、既に日本国内のクラブと結んでいるクラブが多く、「2番、3番煎じでは新鮮味がなく、面白くないなあ！」と選択に苦慮していた所、偶然にもロータリーの友に台湾の新竹城中ロータリークラブが日本のクラブと姉妹クラブを結びたい旨の募集記事が載っており、渡りに船とばかり早速連絡しました。

仲介役をかって出たのは新竹の土城ロータリークラブのPastガバナーの洪さんでした。洪さんの息子さんも土城クラブの会員でPastガバナーの父の代理で来日し、それはそれは一生懸命に新竹城中RCとの橋渡し役をしていただきました。同じ台湾のロータリークラブとはいえ、他のクラブの為にこれ程自腹で時間をかけて、来日してまでも出来るものかと感心しました。私など真似の出来ることではありません。洪さんは、日本の大学、大学院に留学しており、奥さんも日本人、大変に日本語が堪能でメールのやりとりにも困らずスムーズに行き、とても助かりました。

海外のクラブであれば異文化への相互理解、つまりは国際理解へとつながり、互いにロータリアンとして友情を育み合い、クラブ活性化が図れると考えました。まずは、我がクラブ全会員に友好クラブを創るに当たって、アンケート調査をしました。全員から回答をいただきましたが、残念ながら100%の賛成は得られず、3~4名程の反対者がおられました。およそ5%の反対者ですから、OKという訳には行きません。こういうアンケート調査などというものは一般的に必ずと言っていい程、反対者が出るのは承知していましたが、同じクラブで毎週顔を合わせる会員同士ですのでそんな訳には行きません。友好相手の台湾のクラブは積極的でぜひ友好を結びたいと言ってきており、困りましたね。

そこで、じっくり反対者の説得に動きました。2回目のアンケート調査を行いました。99%の賛成を得ることができました。またしても残念ながら、1名の反対者が出ましたが、3回、4回調査しても答えは同じであろうと思い、全員賛成とみなし、姉妹クラブ締結へと進めました。締結文書も用意し台湾を訪問しようという時に私の年度の任期切れになってしまい、次年度会長の渡辺喜彦さんに引継ぎをして託しました。

渡辺会長もやる気満々で台湾を訪問し、友好を重ね、それではという時、あの7・13水害に三条市内は襲われました。会員の被害に遭う中、それどころではなくなり、姉妹クラブ締結はまたもや翌年度の小越憲泰会長に委ねられました。

ようやく2006年度に正式に姉妹クラブの締結を致しました。ステージに上がり、両会長並びに国際奉仕委員長同士がサインを交わし、スポットライトを浴びた姿はよもや大統領同士の調印式の様でした。小越会長は満面の笑みを浮かべ上機嫌でした。この時、3年越しの恋が実った様な気持ちで、やっとこれで出来たのだと一安心しました。

2560地区では現在、海外姉妹クラブ、友好クラブが57クラブ中20クラブほどありますが、実際交流しているクラブは15クラブ位だそうです。

新竹城中ロータリークラブのある新竹市は台湾島の北西部に位置し、人口40万人の都市であります。ビーフン（米粉）で有名な所であり、新竹テクノパークには世界の名だたる企業が進出して、台湾のシリコンバレーと言われるほど集積したテクノ団地です。

昨年3月にこのテクノパークを見学した際、説明を受けたので簡単にご紹介致します。ここに勤務する従業員数は約12万人で、このテクノ団地の総売上高は3兆5千億円（日本円で換算）で台湾国のGDPの5%を占めるといってお話でした。従って、台湾国のGDPは70兆円程になる訳ですが、日本の昨年度GDPの566兆円には遠く及ばないものの、台湾島の国土面積は九州の面積42,000k㎡の一回り小さい35,980k㎡、日本の国土の10分の1位です。この様な小さい島ですので日本と比較するには無理がありますが、このテクノパークだけでこれだけの売上げをすることは驚きでした。

また、精華大学、交通大学などの名門国立大学が隣接し、海外の帰国子女の為に特別実験中学があり、エリート養成の為に台湾国内の中学校と違うカリキュラムで構成されてネイティブな英語で授業が進められ、大変充実した教育環境です。

新竹城中ロータリークラブは設立17年目の若い集団です。会員数は40名弱、平均年齢は40歳位の大変エネルギーな元気のいいクラブです。何か台湾の青年会議所と姉妹クラブを結んだかと思われるくらい私共のクラブから視ますと子供の様に感じました。当クラブの50周年の際も大挙して奥様、子供連れで37名の会員の中33名がお祝いに駆けつけてくれました。台湾のクラブはどれも毎年周年事業を行っています。殆どが家族連れであり、ローターアクト（殆どが地元大学生）も参加し、奥様方々もダンスを披露するなど賑やかに本当に楽しんでおります。

今までお互いに何度も行き来して友情交換をして参りましたが、今後のロータリー活動として、新竹城中RCと歩調をとり、世界社会奉仕（WCSプロジェクト）を企画し、第3国の恵まれぬ地域への奉仕活動を行ってゆきたいと考えておりますので、是非補助金を受けられますよう、馬場ガバナーからも地区からのお力添えをお願い致します。今年は桜の咲く頃来日される予定ですので、この企画をお話してみたいと考えております。